

平成22年度 第4学年編入学

学生募集要項

〔帰国子女特別選抜〕

願書受付期間	平成22年1月13日（水）～2月5日（金）
試 験 日	平成22年2月21日（日）
合 格 発 表	平成22年2月26日（金）

独立行政法人 国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

〒940-8532

新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校学生課教務・入試グループ

Tel：0258-34-9434・9331

Fax：0258-34-9339

E-mail：kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ：http://www.nagaoka-ct.ac.jp/

本校のアドミッションポリシー

長岡工業高等専門学校では、次のような人が入学し、技術者を目指して学習してくれることを期待しています。

- 1 科学、工学の基礎を確実に修得している人
- 2 知的な好奇心が旺盛で、科学技術の分野で創造力を発揮したいと考えている人
- 3 人類の福祉や地球の環境に関心があり、よりよい未来の構築に寄与したいと思っている人
- 4 コミュニケーション能力と国際的な視野を身につけ、地域産業界はもとより世界で活躍したいと考えている人

長岡工業高等専門学校では、アドミッションポリシーに基づき、第4学年への編入学を希望する人のために、次のような入学者選抜を行います。

- (1) 第4学年編入学選抜（調査書と学力検査及び面接の結果に基づいて選抜します。）
- (2) 第4学年編入学選抜（帰国子女特別選抜）（成績証明書等と学力検査及び面接の結果に基づいて選抜します。）

目 次

ページ

I	編入学を実施する学科（コース）、募集人員及び編入学年……………	1
II	選抜方法 ……………	1
III	注意事項 ……………	4
IV	本校の教育理念と学習・教育目標 ……………	6
V	編入学案内 ……………	8
VI	技術者教育プログラム ……………	10
VII	個人情報の取扱いについて ……………	10
VIII	平成23年度第4学年編入学者選抜及び第4学年編入学者選抜 （帰国子女特別選抜）について ……………	11

【参 考】

試験会場案内図 ……………	巻末
---------------	----

本要項に添付されている出願に必要な本校所定用紙等

- ① 編入学願書・写真票・受験票〔裏面：受験生心得〕
- ② 海外在住状況説明書
- ③ 検定料振込依頼書・受取書・検定料振込済証明書
- ④ 検定料振込済証明書貼付票

※①，③については、所定の用紙をお送り致しますので、学生課教務・入試グループ（表紙に記載）にご請求ください。

I 編入学を実施する学科（コース）、募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編入学年
機械工学科	若干名	第4学年
電気電子システム工学科	若干名	
電子制御工学科	若干名	
物質工学科		
材料工学コース	若干名	
生物応用コース	若干名	
環境都市工学科	若干名	

II 選抜方法

1. 出願資格及び出願要件

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が高等学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、平成20年4月以降に帰国した者）で、次のいずれかに該当する者とする。

ア. 外国において学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を卒業（修了）した者及び平成22年3月31日までに卒業見込み（修了見込み）の者で、外国において正規の教育制度に基づく高等学校に相当する課程で通算して2年以上の学校教育を受けている者

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

イ. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成20年又は平成21年に授与された者で、18歳に達した者及び平成22年3月31日までに達する者

ウ. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成20年又は平成21年に授与された者で、18歳に達した者及び平成22年3月31日までに達する者

エ. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成20年又は平成21年に授与された者で、18歳に達した者及び平成22年3月31日までに達する者

入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず平成22年1月13日（水）までに本校学生課教務・入試グループに電話・電子メール・郵便等により照会してください。

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成22年1月13日（水）～平成22年2月5日（金）まで（必着）

受付時間は9時から17時までとし、郵送の場合は、2月5日（金）17時必着とします。

郵送の場合は、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きし、書留・速達郵便で送ってください。

さい。

(2) 出願書類

次の表に示した書類を提出してください。

出願書類が受理された入学志願者には、「受験票」を送付します。

[出願書類一覧]

出願書類	摘 要
① 編入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 写真票	本校所定の用紙に写真を貼り、必要事項を記入してください。
③ 受験票	本校所定の用紙に写真を貼り、必要事項を記入してください。
④ 成績証明書 (調査書)	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。成績証明書で提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 なお、日本の高等学校に在籍した期間がある場合は、在学した高等学校長が作成した所定の「調査書」も、併せて提出してください。
⑤ 入学資格に関する証明書	最終出身学校の卒業(修了)証明書又は同見込証明書。 前記「1. 出願資格及び出願要件」のイ.～エ.に該当する者は、該当する資格証書の写し及び最終試験科目の成績評価証明書を提出してください。
⑥ 統一試験等の成績証明書	諸外国の国家試験等(アメリカ合衆国のSAT、イギリスのGCE等)を受験している者は、その試験の成績証明書を提出してください。
⑦ 海外在住状況説明書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
⑧ 登録原票記載事項証明書	外国籍を有する者のみ提出してください。
⑨ 入学検定料 (検定料振込済証明書貼付票)	16,500円 本校所定の検定料振込依頼書により、平成22年1月6日(水)～平成22年2月5日(金)の間に金融機関(ゆうちょ銀行を除く)で振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。
⑩ 返信用封筒	長形3号(120mm×235mm)を使用し、本人の住所、氏名、郵便番号を明記してください。受験票等の送付に使用しますので、10日程度で確実に受け取ることができる住所を記載してください。

(3) 出願書類送付先及び募集に関する問い合わせ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課教務・入試グループ

TEL : 0258-34-9434・9331 FAX : 0258-34-9339

3. 出願手続に関する留意事項

- (1) 志望学科は、本校の5つの学科(機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・物質工学科・環境都市工学科)の中から、ひとつの学科を選んで記入してください。ただし、物質工学科は、材料工学コースと生物応用コースの2つのコースがありますので、第一志望

とするコースを選択してください。第二志望まで認めます。

※志望学科の選択にあたっては、興味・関心だけでなく、目的意識、適性及びこれまでの科目履修状況等から十分に検討してください。

各学科の専門性に対し、履修していることが望ましい科目は次のとおりです。

- ・機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・環境都市工学科：物理に関する科目
- ・物質工学科：化学または生物に関する科目

- (2) 編入学願書が受理された後に、志望学科、コースを変更することはできません。
- (3) 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 外国の学校又は機関が作成した書類（成績証明書を除く）については、必ず日本語訳を添付してください。

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの資料に基づいて、総合的に審査して行います。

- ① 成績証明書等の内容
 - ② 学力検査の成績
 - ③ 本校が課す「面接」（志望学科の適性に関する口頭試問を含みます。）の結果
- 成績証明書等と学力検査・面接の配分は下表のとおりです。

成績証明書等	学力検査	面接
50	100 (2科目を均等に評価します)	30

(2) 学力検査及び面接

- ① 日 時：平成22年2月21日（日）10時40分～
- ② 試験会場：長岡工業高等専門学校
- ③ 学力検査科目及び出題範囲
 - ア. 数学（数学A（平面図形を除く）、数学I、数学II）
 - イ. 英語（英語I、英語II）
- ④ 試験中に使用できる物
 - ア. 筆記用具（黒の鉛筆又はシャープペンシル）
 - イ. 消しゴム
 - ウ. 鉛筆削り
- ⑤ 面 接：1人20分程度の個人面接を実施します。
- ⑥ 時 間 割

検査等	時間
受付	10:00 ～ 10:20
1 英語	10:40 ～ 11:30
2 数学	11:50 ～ 12:40
面接	13:30 ～

※昼食は、学生食堂を利用することができます。持参しても構いません。

なお、受験を取りやめた場合は、必ず学生課教務・入試グループ（表紙に記載）へ連絡してください。

5. 合格発表

(1) 日 時：平成22年2月26日（金）10時

(2) 場 所：長岡工業高等専門学校 4号館玄関

(3) 発表方法：合格者の「受験番号」を学科別に発表します。

選抜の結果は、本人宛に文書で通知します。また、合格者の「受験番号」を本校のホームページ <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/> に掲載します。

電話等による問い合わせには、一切応じません。

Ⅲ 注意事項

1. 編入学願書等

(1) 記入の誤りや漏れがある編入学願書は受理できません。

(2) 受理した出願書類は返却できません。

(3) 振込済の検定料は次の場合を除き返却できません。

① 払い込んだが出願しなかった（受理されなかった）場合

② 二重に払い込んだ場合

(4) 海外在住状況説明書の様式については、本校ホームページ <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/> に掲載しますので、それを利用して作成することもできます。

(5) 編入学願書・写真票・受験票の記入上の注意

- ・ 本人が、記入してください。
- ・ 事実を隠したり、偽りを書いたりすると、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ・ 黒または、青のボールペン（万年筆）で、はっきりと書いてください。
- ・ 『受験番号』欄は、何も書かないでください。
- ・ 『①志望学科』欄は、「Ⅱ 3. 出願手続に関する留意事項」を熟読のうえ、記入してください。
- ・ 本人の『②氏名』欄は、戸籍上の氏名を正確に書いてください。
- ・ 本人の『③現住所』欄は、志願者本人の現住所を記入してください。
- ・ 『④出身学校』欄は、出身学校の所在地、学校名及び卒業（修了）又は卒業見込（修了見込）年月を記入し、該当のものを○で囲んでください。なお、出身学校の電話番号も記入してください。
- ・ 『⑤入学した場合の入寮希望』欄は、本校に入学した場合、自宅からの通学が困難なため、学生寮への入寮を希望するかどうかについて、○で囲んでください。
なお、この欄は、学生寮への入寮希望者数を把握するためのものであり、入学者の選抜には一切関係ありません。
- ・ 『⑥保護者等』欄は、保護者又はこれに代わるべき者の氏名、志願者本人との関係、住所及び電話番号等を記入してください。
- ・ 『⑦日本国内の連絡先』欄は、出願時から入学決定時まで、最も迅速、確実に連絡できる場所及び電話番号を記入してください。「本人」又は「保護者等」と同一の場合、氏名と本人との関係の記入のみで構いません。なお、出願後、変更が生じた場合は、受験番号、氏名を明記して、速やかに届け出てください。

2. 受験生心得

受験票の裏面に「受験生心得」が記載してあります。受験の前によく読んでおいてください。

3. 駐車場

駐車場の確保が困難なため、受験生を自家用車で送迎することは避け、バスなどの公共交通機関を利用してください。

4. 上履き

上履きは必要ありません。

5. 宿泊施設

受験のための宿泊施設の提供やあっせんは行いませんので、必要な人は各自確保してください。

6. 身体に障がいがある者あるいは発達障害者支援法で規定する障がいがある者が出願する場合について

本校に入学を志願する者で、身体に障がい（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障がいの程度）がある、あるいは発達障害者支援法で規定する障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮が必要な場合は、事前相談書（様式任意）に次の内容を記載し、平成21年12月4日（金）までに本校学生課教務・入試グループに申し出てください。身体障がいの程度が身体障害者手帳の等級で1～2級の場合は、上記期限に関わらず、できるだけ早めにご相談ください。ただし申し出の内容によっては、受験日までに対応できず、特別な措置が講じられないことがあります。

- ① 志望学科
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験上、修学上特別な配慮を希望する事項
- ④ 出身学校等でとられていた措置
- ⑤ 日常生活の状況 等

※事前相談書には、医師による診断書あるいは身体障害者手帳の写しを添付してください。

[参考] 学校教育法施行令第22条の3（抜粋）

区分	身体障がいの程度
視覚障がい者	両眼の視力が概ね0.3未満の者又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい者	両耳の聴力レベルが概ね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は著しく困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

7. 入学手続き

合格者には合格通知と合わせて、「入学手続書類」を送付しますので、入学の意思がある場合は、期日（平成22年3月上旬頃を予定）までに入学手続きを行ってください。

IV 本校の教育理念と学習教育目標

本校では、以下の表に示す教育理念と学習・教育目標を掲げて、教育活動を行っています。受験に当たっては、ここに示す内容を十分にご理解ください。

教育理念： 人類の未来をきりひろく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

教育目標 学習・教育目標

準学士課程の教育目標と学習・教育目標
(A)人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
(a1) 人文・社会科学に関する基礎知識を学習し理解すること。
(a2) 工業技術と社会、自然環境の係わりについて学習し理解すること。
(a3) 技術者として備えるべき社会的倫理を学習し理解すること。
(B)すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
(b1) 日本文化についての知識を身につけるとともに多様な国際文化を理解すること。
(b2) 日本語による卒業研究や実験実習の報告書の作成及び発表・討論ができること。
(b3) 多様な国際文化を理解し、英語による基本的コミュニケーション能力を身につけること。
(C)早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
(c1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する基本的な問題が解けること。
(c2) 工学の基礎知識が実際の技術分野でどのように係わっているかについて学習し理解すること。
(D)工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
(d1) 専門工学の基礎事項について学習し、基本的な問題が解けること。
(d2) 専門分野の問題解決に必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールについて学習し理解すること。
(d3) 実験実習を通してものづくりの基礎知識と技能を身につけること。
(d4) 実験報告書作成を通して、情報技術の習得及び情報検索能力を身につけること。
(E)多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
(e1) 特定の専門科目だけでなく境界分野科目についても学習し理解すること。
(e2) 与えられた課題に対して、解決するために必要な事柄に対する知識と解決手法を身につけること。
(F)地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
(f1) 企業等での実習体験を通して、技術者としての心構えや必要とされる技術的知識を理解すること。
(f2) 体験報告書を通して、社会に役立つ技術者として備えるべき能力について考察できること。
(G)自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成
(g1) 工学的課題について、必要な情報や資料等を自発的に収集する能力を身につけること。
(g2) 与えられた技術的課題の解決を通して、さらに幅広い技術的知識を得る能力を身につけること。

専攻科課程の教育目標と学習・教育目標

(A)人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成

- (A1) 人文・社会科学に関する基礎的な事項について説明できること。
- (A2) 工業技術が社会、自然環境や人間に及ぼしている影響について、例を示し説明できること。
- (A3) 工業技術が地球環境に及ぼしている影響について、技術者倫理に照らして対応策を提案できること。

(B)すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成

- (B1) 論理的な文章が書けること。
- (B2) 日本語による科学技術の報告書の作成及び発表・討論ができること。
- (B3) 異なる文化的背景を持つ多様な国際文化を理解できること。
- (B4) 英語のコミュニケーション能力として基本的な読み取り、聞き取りができること。

(C)早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成

- (C1) 工学の基礎となる数学、物理学、その他の自然科学の内容に関する発展的な問題が解けること。
- (C2) 工学の基礎知識が、技術の分野でどのように応用されているかを説明できること。
- (C3) 基礎工学の知識を理解し、それらを用いて基本的な問題が解けること。

(D)工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成

- (D1) 専門工学の知識を理解し、特定の専門分野ごとの代表的な問題を解けること。
- (D2) 特定の専門分野の問題解決のために必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールを活用できること。
- (D3) ものづくりのために実験・実習で身につけた技術・技能を活用できること。
- (D4) 問題を解決するために必要な情報を収集し、解析するための情報技術を使いこなせること。

(E)多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成

- (E1) 自然科学、基礎工学、専門工学の知識を総合的に利用し、工学的課題の解決方法を説明できること。
- (E2) あらゆる制約(時間、設備、資金、人的・物的資源など)を考慮しながら、課題を解決するための計画を作成できること。
- (E3) 異なる技術分野を理解し、自分の得意とする専門分野の知識とあわせて、技術的課題を解決できること。

(F)地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成

- (F1) 企業等での実習体験をとおして、地域社会と産業の要求している内容を把握し整理できること。
- (F2) 自分が身に付けた技術的な知識や能力が、地域社会と産業にどのように活用できるかを説明できること。

(G)自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成

- (G1) 工学の専門分野における技術的な動向について説明できること。
- (G2) 工学的な問題を発見して、その解決に必要な情報や資料を収集し、整理できること。
- (G3) 技術的な問題の解決のために、計画して、実施して、その活動を評価し、改善策を提案できること。

V 編入学案内

1. 創立

本校は、国立学校設置法により昭和37年4月に設置されました。

2. 本校の特色

- (1) 充実した施設・設備を持つ国立の高等教育機関
- (2) 実験・実習を重視した5年一貫教育システム
- (3) 自由、自律の校風
- (4) 高い求人倍率と卒業生に対する高い評価
- (5) 大学（第3年次編入）及び高専専攻科への高い進学率

3. 本校の概要

別途配付しています学校案内、または、本校のホームページにてご確認ください。

4. 編入学生の履修

第4学年に編入した学生に対しては、専門科目の講義が理解できるように、第4学年の選択科目の中に、下記の専門基礎科目を開講しています。

学科名	機械工学科	電気電子システム工学科	電子制御工学科	物質工学科	環境都市工学科
科目名	機械基礎工学	なし	電子制御基礎工学	化学基礎工学Ⅰ※ ¹ 化学基礎工学Ⅱ※ ²	環境都市工学概論

※¹物質工学科のすべての編入生が履修します。

※²物質工学科編入生のうち、普通高校からの編入生のみ履修します。したがって、普通高校からの編入生は化学基礎工学Ⅰと化学基礎工学Ⅱの2科目を履修することになります。

5. 入学時に必要な諸経費

- (1) 入学料 84,600 円
- (2) 授業料 234,600 円（年額）
※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 教科書、教材費 約 23,000 円（学科により異なります）
- (4) 後援会費 26,000 円（入会金及び年会費）
- (5) 同窓会費 15,000 円（入会金）
- (6) 学生会費 9,000 円（年額）
- (7) 見学旅行費 約 66,000 円（学科により異なります）
- (8) 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 1,520 円（年額）

注) 入学料、授業料については、改定される場合がありますのでご了承ください。

6. 授業料免除制度等

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合、入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により納付が著しく困難な場合、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額若しくは半額が免除されます。

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合に本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の納付期限を延長します。

- ① 経済的理由により、所定の期日までに納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合
- ③ 本校に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、所定の期日までに納付が困難であると認められる場合

(3) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業成績が優秀と認められた場合は、本人の申請により選考のうえ、その期に納付する授業料の全額または半額が免除します。

あるいは学資を主として負担している者が死亡や風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難な場合も適用されます。(申請受付は、学期毎に行います。)

(4) 授業料徴収猶予及び月割分納

特別な事情により、授業料が期日までに納入できない場合、または、一括納入できない理由がある場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、徴収を猶予され、または月額分納することもできます。

7. 奨学金

日本学生支援機構等の奨学制度があり、第一種奨学生(無利子)は、学業優秀で、健康であり、かつ経済的に学資の支弁が困難であると認められた者は選考のうえ、日本学生支援機構に推薦します。日本学生支援機構で審査のうえ、奨学生として採用されます。

なお、第二種奨学生(有利子)は、第一種奨学生よりゆるやかな基準となっており、第4学年以上が対象となります。

(1) 日本学生支援機構の第一種奨学金(無利子)

貸与月額 自宅通学	45,000 円
自宅外通学	51,000 円
通学区分なし	30,000 円

(2) 日本学生支援機構の第二種奨学金(有利子)

貸与月額30,000円、50,000円、80,000円、100,000円のいずれかから選択

8. 卒業後の進路

(1) 就職の状況

本校の卒業生に対し、県内、県外の一流企業から多数の求人があり、創立以来ほぼ100%の就職率を誇っています。

(2) 高等専門学校専攻科への入学

高等専門学校卒業後、高専教育の連続性を保ちながら、さらに高度な知識、技術を志望する者は、修業年限2年間の「専攻科」に進学することができます。この専攻科を修了し、「大学評価・学位授与機構」の行う学修成果の審査及び試験に合格した者には、「大学評価・学位授与機構」から「学士(工学)」の学位が与えられ、大学院への入学資格が得られます。専攻科は、平成21年度現在、全ての国立高専に設置されています。本校専攻科は、平成12年4月に設置されました。

(3) 大学への編入学の状況

① 大学への編入学について

本校を卒業し、より高度な勉学を志す者のために、国公立大学(主として理工系)の第3学年への編入学の道が広く開かれており、平成20年度卒業生の約73%が現役で編入学(高専専攻科入学を含む。)しています。もちろん、本校第4学年に編入学した学生も、相当数がこれらの大学等に編入学しています。

なお、大学等への編入学に際しては、大学入試センター試験を受ける必要はなく、しかも複数の大学を受験することができます。

② 技術科学大学への編入学について

技術科学大学は、主として高等専門学校卒業生を受け入れるために設置された新構想の工学系大学です。

高等専門学校卒業生は第3学年に編入学し、原則として全員が修士課程に進み、さらに希望する者は、博士後期課程へ進学することもできます。現在、長岡技術科学大学（新潟県長岡市）と豊橋技術科学大学（愛知県豊橋市）の2つがあります。

VI 技術者教育プログラム

長岡高専では、平成16年4月に、日本技術者教育認定機構（JABEE, Japan Accreditation Board for Engineering Education; <http://www.jabee.org/>）の基準に対応するための技術者教育プログラム（生産システム・環境工学プログラム）を設定し、認定を受けています。

この教育プログラムは、本校の学科第4, 5学年と専攻科第1, 2学年の4年間のカリキュラムで構成されており、4つの学年に在籍する全ての学生を対象としています。

生産システム・環境工学プログラムについての詳細は、本校のホームページをご覧ください。（<http://www.nagaoka-ct.ac.jp/gaiyo/251.html>）

卒業後に本校の専攻科に進学する学生は、JABEE認定プログラムの修了者としての資格を取得するために、次の3項目のすべてを満たすことを目標に学習します。

- ① 本校専攻科の修了
- ② 大学評価・学位授与機構からの「学士（工学）」の取得
- ③ JABEE認定プログラムの修了

VII 個人情報の取扱いについて

本校では「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）」に基づき、保有している個人情報について以下のとおり適正に取り扱います。

1. 本校で個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するための必要な場合に限りします。
2. 本校が個人情報を取得する場合は、本人に対し利用目的を明らかにして取得します。
3. 本校で保有している個人情報は、厳正な管理下で安全に保管します。
4. 本校が保有する個人情報について、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために自らが利用し、また、第三者に提供することはありません。

なお、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VIII 平成23年度第4学年編入学者選抜及び第4学年編入学者選抜（帰国子女特別選抜）について

1. 実施時期：平成22年11月頃

第4学年編入学者選抜と第4学年編入学者選抜（帰国子女特別選抜）は、同じ日に実施する。

2. 変更の概要

(1) 数学と英語は、別科目として実施する。

数学の出題範囲は、数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学Cとする。英語の出題範囲は、従来どおりとする。

検査時間は、数学80分, 英語60分とする。

(2) 第4学年編入学者選抜（帰国子女特別選抜）の検査科目を第4学年編入学者選抜と同様に、数学, 英語, 専門科目の3科目に変更する。検査時間及び出題範囲も第4学年編入学者選抜と同じとし、同じ試験問題で受験することとする。また、専門科目の選択についても、第4学年編入学者選抜と同様に、受験生の意思によって選択できるものとする。

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学願書

受験番号		選抜区分	帰国子女特別選抜		
志望学科		工学科		第1志望コース 第2志望コース	
本人	ふりがな			男・女 入学した場合 の入寮希望 する・しない ・わからない	
	氏名				
	生年月日	昭和・平成	年	月	日生
	現住所	〒 電話 () -			
出身学校	所在地:				
	学校名:				
	平成 年 月 卒業見込(修了見込)・卒業(修了)				
	電話 +国番号 () -				
保護者等	氏名			本人との 続柄	
	現住所	〒 電話 +国番号 () -			
日本国内の 連絡先	氏名			本人との 続柄	
	現住所	〒 電話 () -			

受験番号欄以外は全て記入してください。

切りはなさないこと

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学写真票

受験番号	
選抜区分	帰国子女特別選抜
志望学科	工学科
	第1志望コース 第2志望コース
出身校	
ふりがな	
氏名	
<p>写真貼付 (全体的にのりをつける) 1. 無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの 2. サイズは、4cm x 3.5cm</p>	

切りはなさないこと

高 専
契 印

長岡工業高等専門学校 平成22年度
第4学年編入学受験票

写真貼付
(全体的にのりをつける)
1. 無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの
2. サイズは、4cm x 3.5cm

受験番号			
志望学科	工学科		
	第1志望	コース	
第2志望	コース		
氏名			
<帰国子女特別選抜>			
平成22年 2月21日 (日)	英語	10:40~11:30	
	数学	11:50~12:40	
	昼食・休憩		
	面接	13:30~	
注意			
1. この受験票は、必ず携帯すること。			
2. 本票を忘れたとき、又は紛失したときは、ただちに学生課教務・入試グループに届け、仮受験票の交付を受けること。			
3. 裏面の「受験生心得」を熟読のこと。			

受験生心得

1. 試験当日は、10時から10時20分までの間に受付を済ませ、検査室に入室してください。
2. 検査室では、受験票と同一番号の席に着き、受験票を右上においてください。
3. 試験中に使用できるもの
 - ・黒鉛筆又はシャープペンシル
 - ・消しゴム
 - ・鉛筆削り
4. 問題は、検査開始5分前に配り始めますが、開始の合図があるまで触れないようにしてください。
5. 遅刻者は、検査開始後20分まで入室を認めます。
6. 不正行為のあった場合は、退室を命じられ、全科目の検査を無効とします。

長岡工業高等専門学校
平成22年度 第4学年編入学〔帰国子女特別選抜〕
海外在住状況説明書

平成 年 月 日

長岡工業高等専門学校長 殿

志願者名 _____

保護者名 _____ (印)

下記の記載事項は、事実と相違ないことを誓約いたします。

記

1. 海外在住地名
2. 出国期日 平成 年 月 日
3. 帰国期日 平成 年 月 日
4. 海外在住期間 年 月
5. 出国前・海外在住中・帰国後の学歴

学 校 名	学校所在地 (国・都市名)	期 間

【備考】特に参考になることがあれば、ご記入ください。

検定料振込依頼書

※ここから切り離して使用してください

検定料振込済証明書 (志願者が学校へ提出する)

平成	年	月	日
金額	¥	16500	円
振込先	北越銀行 本店営業部		
銀行	普通	口座番号	1768667
受取人	高専機構本部		
ご依頼人 (志願者)	4		
選抜区分	平成22年度 第4学年 編入学生		

- 〔注意〕
- ・振込みには必ずこの振込用紙を使用してください。
 - ・本票は、出願期間内に「出願書類」に貼り付けし、学校に提出してください。
 - ・本票に、取扱銀行取納印が無い場合は無効です。



(取扱銀行→依頼人→高専)

検定料振込金受取書 (本人保存)

平成	年	月	日
金額	¥	16500	円
振込先	北越銀行 本店営業部		
銀行	普通	口座番号	1768667
受取人	高専機構本部		
ご依頼人 (志願者)	4		
選抜区分	平成22年度 第4学年 編入学生		
手数料 (消費税込)	円		

上記の金額正に受取りました。

(取扱店)

銀行

支店

(取扱銀行→依頼人)



印紙

電信扱

依頼日	平成	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円	
振込先銀行	北越銀行 本店営業部							金額	¥16500
受取人	普通預金	口座番号	1768667					現金	
	高専機構本部	高専機構本部	高専機構本部					現金	
	氏名 (カナ)	4						現金	
	氏名 (漢字)							現金	
	(住所) 〒							現金	
	ご依頼人 (志願者)							合計	
								つり銭	

振込依頼書 (取扱店保存)

依頼日	平成	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円	
振込先銀行	北越銀行 本店営業部							金額	¥16500
受取人	普通預金	口座番号	1768667					現金	
	高専機構本部	高専機構本部	高専機構本部					現金	
	氏名 (カナ)	4						現金	
	氏名 (漢字)							現金	
	(住所) 〒							現金	
	ご依頼人 (志願者)							合計	
								つり銭	

取扱銀行へのお願い

- (1) 際本枠内を打電してください。依頼人の氏名 (カナ) を打電する
- (2) 際本枠内を打電してください。依頼人の氏名 (カナ) を打電する
- (3) 金額は1・2・3にもれなく正確に押印し、1・2各票は依頼金額の訂正してあるものは受けないでください。

(銀行切り離し)



取扱銀行保管

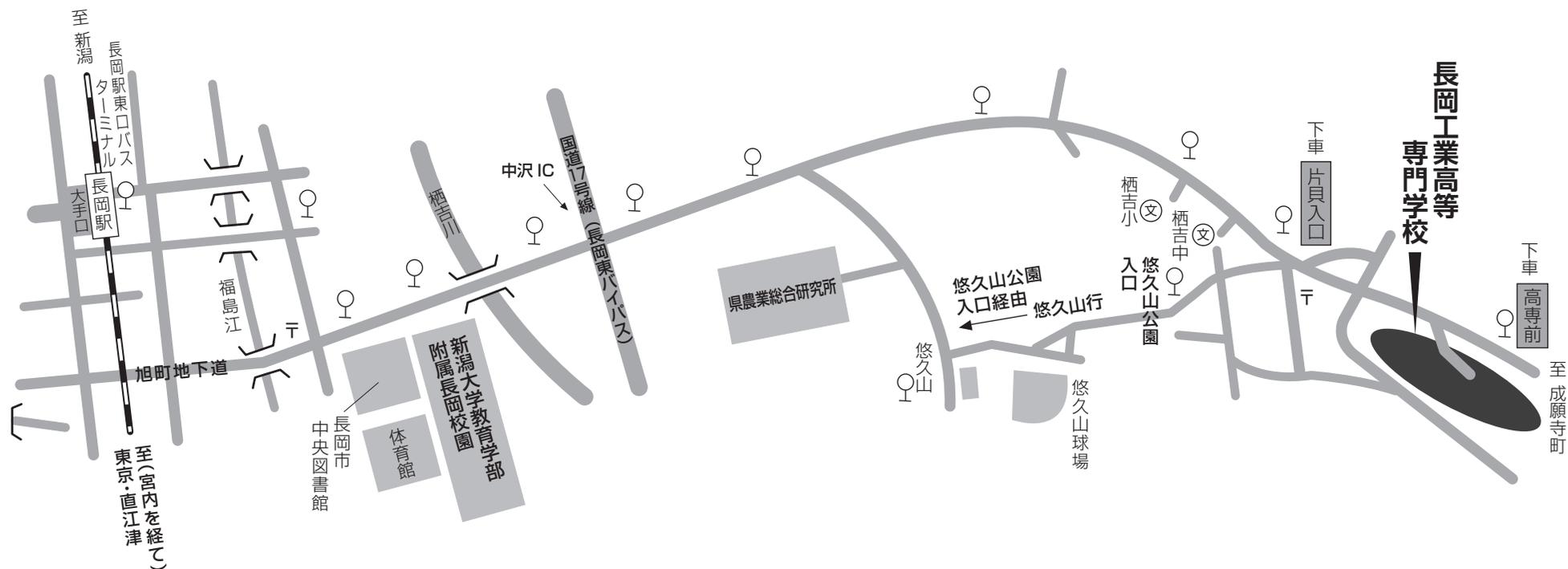
検定料振込済証明書貼付票

枠の中に、取扱銀行収納印のある「検定料振込済証明書」を貼り付けてください。

※本人保存用の「受取書」は貼り付けないでください。

ここに検定料振込済証明書を貼ってください。

長岡工業高等専門学校 位置及び交通案内



☆ 学校所在地

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地
 TEL (0258) 32-6435 (代表)

☆ 交通案内

① JR長岡駅東口バスターミナル1番、2番

(1)「悠久山(悠久山公園入口経由)」行(15分~20分間隔)

(2)「成願寺(悠久山経由)」行(1日5~6往復)

② JR長岡駅東口からタクシー 約10分

片貝入口下車 徒歩約7分

高専前下車 徒歩約2分